

## パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦及び人質の即時解放を求める意見書

パレスチナ自治区ガザ地区において、イスラエル軍とパレスチナのイスラム組織ハマスとの軍事衝突が続いている。

令和5年11月15日、国連安全保障理事会は、ガザ地区の子どもの人道状況を改善するための戦闘休止などを求める決議を採択し、12月12日には国連総会の緊急特別会合において、「即時の人道的停戦」を求める決議を、日本を含む国連加盟国の約8割にあたる153カ国の賛成多数で採択した。

これは、「一般市民の危機的状況を改善しなければならない」と国際社会の意思が表明されたものである。

いかなる場合においても人間の生命と尊厳を守るべきとの国際人道法の理念を尊重し、この戦闘により一般市民が直面している人道上の危機的な状況を改善するために事態の早期鎮静化が求められている。

よって、坂城町議会は、全世界の平和を願い、イスラエルとハマスの双方をはじめとするすべての当事者、国会、日本政府、国際社会に対し、一刻も早い事態の解決に向けて、次の事項を実現するよう強く求める。

### 記

- 1 即時停戦及び人質を即時解放すること
- 2 国際法及び国際人道法を遵守すること
- 3 物資の供給等により人道上の危機的状況の速やかなる改善を図ること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 6年 3月 日

衆議院議長 額 賀 福志郎 殿  
参議院議長 尾 辻 秀 久 殿  
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 殿  
外務大臣 上 川 陽 子 殿

長野県埴科郡

坂城町議会議長 滝 沢 幸 映